

2018



「現実界」の蝶番、
あるいは『あの日見た花の名前を僕たちはまだ知らない』に現れた物語の三層構造 川村清志

洛中洛外図屏風「歴博甲本」と
「歴史乙本」の人物データベースによる比較 小島道裕・森下佳菜・大藪海

崖線の在地領主 渡邊浩貴

【研究ノート】

古代における長艘(熨斗艘)製造法の研究 清武雄二

対馬藩中村家造船文書「諸船長サ方深サ書附」の漆喰拵えについて 出口晶子

直良信夫の旧石器時代研究 春成秀爾

【資料紹介】

長崎県立対馬歴史民俗資料館蔵「諸船長サ方深サ書附」 荒木和憲

『春記』逸文拾遺(稿) 小倉慈司・小川宏和

『三合勘文部類』の紹介と翻刻 山口えり

【調査研究活動報告】

国立歴史民俗博物館
総合展示第1室(原始・古代)の新構築事業 上 奈穂美・横田あゆみ

古代における「糖(飴)」の復元 三舟隆之・橋本 梓

荒川章二教員の退職にあたって 原山浩介
荒川章二年譜・研究業績目録

国立歴史民俗博物館 研究報告

第209集
平成30年3月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

**国立歴史民俗博物館
研究報告
第209集**

正 誤 表

『国立歴史民俗博物館研究報告』第209集の表紙と目次につきまして、著者名に、以下のとおり誤りがございました。

お詫びして訂正いたします。

洛中洛外図屏風「歴博甲本」と「歴博乙本」の人物データベースによる比較

小島道裕・森下佳菜・大藪 海➡（誤）

洛中洛外図屏風「歴博甲本」と「歴博乙本」の人物データベースによる比較

小島道裕・森下佳菜・大藪 海➡（正）

目次

「現実界」の蝶番,あるいは『あの日見た花の名前を僕たちはまだ知らない』に 現れた物語の三層構造	川村清志	1
洛中洛外図屏風「歴博甲本」と「歴史乙本」 の人物データベースによる比較	小島道裕・森下佳菜・大藪海	123
崖線の在地領主 武蔵国立川氏の水資源開発と地域景観	渡邊浩貴	157
[研究ノート]		
古代における長鯨(熨斗鯨)製造法の研究 加工実験・成分分析による実態的考察	清武雄二	19
対馬藩中村家造船文書「諸船長サ方深サ書附」 の漆喰拵えについて	出口晶子	177
直良信夫の旧石器時代研究	春成秀爾	43
[資料紹介]		
長崎県立対馬歴史民俗資料館蔵 「諸船長サ方深サ書附」	荒木和憲	189
『春記』逸文拾遺(稿)	小倉慈司・小川宏和	219
『三合勘文部類』の紹介と翻刻	山口えり	243
[調査研究活動報告]		
国立歴史民俗博物館総合展示 第1室(原始・古代)の新構築事業 2016年度活動報告	上 奈穂美・横田あゆみ	83
古代における「糖(飴)」の復元	三舟隆之・橋本 梓	95
荒川章二教員の退職にあたって	原山浩介	109
荒川章二年譜・研究業績目録		111

Contents:

KAWAMURA Kiyoshi	— Hinge of the Real or Three-layered Structure of Story Seen in the Analysis of an Animation “Ano Hi Mita Hana no Namae wo Bokutachi wa Mada Shiranai”	1
KOJIMA Michihiro, MORISHITA Kana and OYABU Umi	— Use of the Character Database for Comparison of Rekihaku A and B Versions of Folding Screens of Scenes in and around Kyoto	123
WATANABE Hiroki	— Local Lords on the Escarpment : Water Resources Development by the Tachikawa Family of Musashi Province and Regional Landscapes	157
Research Notes		
KIYOTAKE Yuji	— Ancient Methods of <i>Noshiawabi</i> Abalone-Drying : A Factual Study Based on Processing Experiments and Composition Analysis	19
DEGUCHI Akiko	— Plastering in the Document on Shipbuilding, “Notes on Boat Length, Beam and Draft,” of the Nakamura Family of Tsushima Domain	177
HARUNARI Hideji	— NAORA Nobuo’s Studies on the Palaeolithic Japan in Tokyo	43
Research Materials		
ARAKI Kazunori	— Document on Shipbuilding in the early modern period, “Notes on Boat Length, Beam and Draft,” in the Collection of Nagasaki Prefectural Tsushima Museum of History and Folklore	189
OGURA Shigeji and OGAWA Hirokazu	— Gleanings of “Shunki”	219
YAMAGUCHI Eri	— Introduction and Transcription of “ <i>Sangō Kanmon Burui</i> ”	243

Report on Investigation and Research Activity

KAMI Naomi and YOKOTA Ayumi

—— Renovation Project of the Permanent Exhibition Gallery One (Prehistoric and Early Japan) of the National Museum of Japanese History : FY 2016 Activity Report	83
--	----

MIFUNE Takayuki and HASHIMOTO Azusa

—— Reproduction of Candies from the Ancient Times	95
---	----

HARAYAMA Kosuke —— Words on the Occasion of the Retirement of Dr. Arakawa Shoji	109
Chronology and Bibliography of Arakawa Shoji	111

『国立歴史民俗博物館研究報告』投稿要項

平成 29 年 3 月 27 日 研究推進センター会議決定

1 定義

- 1.1 『国立歴史民俗博物館研究報告』(以下「研究報告」という。)は、国立歴史民俗博物館(以下「本館」という。)の研究資源、機器等を利用した研究成果を掲載する本館における最も基本的な刊行物であり、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」(以下「論文等」という。)を發表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 1.2 通常号は、本館が定期的に刊行する研究成果の報告書であり、特集号は、本館共同研究等の成果報告書である。
- 1.3 掲載される論文等には、次の区分がある。
 - 一 論文：歴史学、考古学及び民俗学並びにそれらと関連する諸分野に関するオリジナルな研究の成果をまとめたもの、若しくはある分野に関する研究史や研究成果、現状、展望等を総覧し、総合的にまとめたもの
 - 二 研究ノート：研究の中間報告等大きな研究の一部をなすもの、若しくは予察、試論、着想等を提示するもの
 - 三 資料紹介：歴史・考古・民俗・博物館に関する資料の紹介や解題・翻刻を主としたもの
 - 四 調査研究活動報告：本館の事業や研究活動の内容について報告するもの、若しくは調査・研究の基礎情報を提示するもの
- 1.4 研究報告は、原則として本館のリポジトリに登録される。

2 資格

- 2.1 通常号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の教職員、客員教員、名誉教授
 - 二 本館運営会議委員
 - 三 本館の共同研究員等
 - 四 本館が受け入れた各種研究員、研究協力者(リサーチアシスタントを含む)
 - 五 本館特別共同利用研究員のうち受入期間中の研究成果の發表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 六 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻の大学院生
 - 七 本館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 八 その他、研究報告編集委員会(以下「委員会」という。)が適当と認めた者
- 2.2 特集号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の共同研究員等
 - 二 その他、本館共同研究等の代表が必要と判断し、委員会が適当と認めた者

3 投稿

- 3.1 原稿は、区分を問わず未發表のものとする。また、二重投稿は認めない。
- 3.2 原稿の区分は、執筆者が明示する。なお、この区分の最終的な調整は委員会において行う。
- 3.3 原稿の使用言語は、原則として日本語とする。他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳又は抄訳を付ける。
- 3.4 「論文」には、800 字以内の日本語要旨及び 400 語程度の英語要旨並びに 5 項目以内のキーワードを付ける。
- 3.5 原稿の分量は、区分を問わず刷り上がりが 40 頁(写真、図版、表及び論文要旨等を含む)以内を目安とする。なお、1 頁の文字数は 1,700 字を目安とする。
- 3.6 特集号の原稿の総分量は、原則として、刷り上がりが 500 頁(写真、図版、表及び論文要旨等を含む)以内に収めるものとする。
- 3.7 カラー図版は、原則として認めない。希望する場合は理由を提出し、委員会の許可を得る。
- 3.8 写真・図版・翻刻等の研究報告及び本館のリポジトリへの掲載に関する許諾は執筆者がとり、使用料も原則として執筆者が負担する。

3.9 その他、原稿の執筆・提出に関する詳細は別に定める。

4 受理・採録

- 4.1 原稿は、委員会で定めた査読者による査読を経て、委員会が審査の上、掲載の可否を決定する。
- 4.2 原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。返却を希望する写真、図版等のある場合には申し出ること。
- 4.3 掲載順序は、通常号においては「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」の順とし、同区分の場合は著者の五十音順とする。特集号においては本館共同研究等の代表が定める。

5 権利関係

- 5.1 研究報告の編集著作権は大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあり、論文等の著作権は執筆者に属する。
- 5.2 本館は、本館のリポジトリに関して複製権と公衆送信権をもつ。但し、執筆者は公開に適さない部分の削除・非公開を表明できる。
- 5.3 執筆者の所属機関等のリポジトリでの公開は、研究報告の紙型を用いた場合は刊行から1年後以降、データのみの場合は初出を明記した上で奥付日以降に可能とする。なお、所属機関等のリポジトリに公開を希望する場合は、本館に連絡する。

6 その他

- 6.1 本館で作成する抜刷りは、100部までとする。
- 6.2 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 6.3 本要項の改訂に際しては、委員会が原案を作成し、研究推進センターが決定する。
- 6.4 提出先・連絡先

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
国立歴史民俗博物館研究協力課 研究報告担当（代表電話 043-486-0123）

附 則

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（通常号）及び『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（特集号）は廃止する。

〔国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会〕

館外委員 (五十音順)

伊藤紫織 尚美学園大学芸術情報学部
田中 裕 茨城大学人文社会科学部
本郷恵子 東京大学史料編纂所
和田 健 千葉大学国際教養学部・大学院人文公共学府

館内委員

工藤雄一郎 研究部考古研究系
小池 淳一 研究部民俗研究系 (編集委員長)
後藤 真 研究部
樋浦 郷子 研究部
関沢まゆみ 研究部民俗研究系 (研究推進センター長)

国立歴史民俗博物館研究報告 第209集



平成30年(2018) 3月23日 第1版第1刷発行

(非売品)

発行所



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123(代)

印刷・製本所



株式会社 弘文社

〒272-0033 千葉県市川市市川南2-7-2 ☎047-324-5977

〔装丁〕 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History



Hinge of the Real or Three-layered Structure of Story Seen in the Analysis
of an Animation “Ano Hi Mita Hana no Namae wo Bokutachi wa Mada Shiranai”
KAWAMURA Kiyoshi

Use of the Character Database for Comparison of Rekihaku A and B Versions of Folding Screens of Scenes in and around Kyoto
KOJIMA Michihiro, MORISHITA Kana and OYABU Umi

Local Lords on the Escarpment : Water Resources Development by the Tachikawa Family of Musashi Province and Regional Landscapes
WATANABE Hiroki

Research Notes

Ancient Methods of *Noshiawabi* Abalone-Drying : A Factual Study Based on Processing Experiments and Composition Analysis
KIYOTAKE Yuji

Plastering in the Document on Shipbuilding, “Notes on Boat Length, Beam and Draft,” of the Nakamura Family of Tsushima Domain
DEGUCHI Akiko

NAORA Nobuo’s Studies on the Palaeolithic Japan in Tokyo
HARUNARI Hideji

Research Materials

Document on Shipbuilding in the early modern period, “Notes on Boat Length, Beam and Draft,”
in the Collection of Nagasaki Prefectural Tsushima Museum of History and Folklore
ARAKI Kazunori

Gleanings of “Shunki”
OGURA Shigeji and OGAWA Hirokazu

Introduction and Transcription of “*Sangō Kanmon Burui*”
YAMAGUCHI Eri

Report on Investigation and Research Activity

Renovation Project of the Permanent Exhibition Gallery One (Prehistoric and Early Japan)
of the National Museum of Japanese History : FY 2016 Activity Report
KAMI Naomi and YOKOTA Ayumi

Reproduction of Candies from the Ancient Times
MIFUNE Takayuki and HASHIMOTO Azusa

Words on the Occasion of the Retirement of Dr.Arakawa Shoji
HARAYAMA Kosuke

Chronology and Bibliography of Arakawa Shoji

ISSN 0286-7400

vol.209
2018